

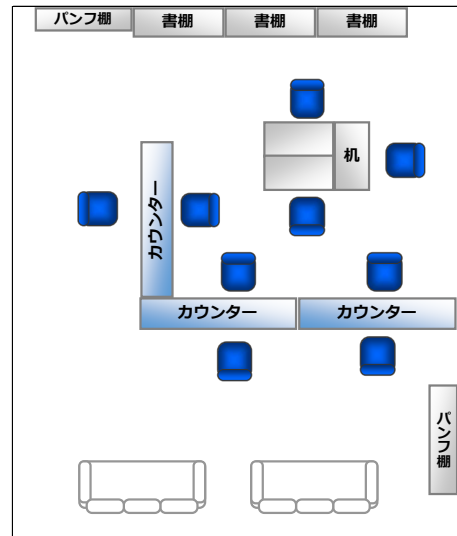
## (2) 交付限度額 500 万円の活用例

### 【整備事業・経費内訳】

名称	数量	金額 (税込)
翻訳機	3台	150,000円
タブレット端末	2台	140,000円
Wi-Fi ルーター	1台	22,500円
ノートPC	3台	396,000円
通信初期費用	-	11,000円
看板作成・設置	-	220,400円
LANケーブル貼替作業	-	550,000円
工事費 (Wi-Fi 工事等)	-	1,600,000円
事務机	3台	215,000円
カウンター	3台	330,000円
椅子	9脚	198,000円
待合ソファ	2脚	180,000円
パンフレット棚	2台	66,000円
書棚	3台	264,000円
ホームページ開設	-	550,000円
ポスター・チラシ作成費	-	440,000円
合計	-	5,332,900円

- ▶外国人住民数：1,200人
- ▶相談員：3名
- ▶市役所内に適当なスペースがないため近隣の建物を賃貸

### ▼設置レイアウト例



交付率 10 / 10 (交付限度額の範囲内)

交付決定額 5,000,000円

### 【運営事業・経費内訳】

名称	数量	金額 (税込)
相談員給与	3人	7,200,000円
社会保険料事業主負担分	3人	100,000円
電話通訳業務委託料	9月	720,000円
通信料	9月	9,900円
賃貸借料	12月	396,000円
WEBサイト運営費	9月	1,320,000円
合計	-	9,745,900円

交付率  
1 / 2

交付決定額

4,872,000円

交付決定は  
千円単位で行います。  
なお、交付金の額の確定は  
実績に基づき、  
一円単位で行います。

※整備に3か月を要し、7月に窓口を開設したと想定

整備のために場所を借りる必要があることから賃貸借料は12か月を計上



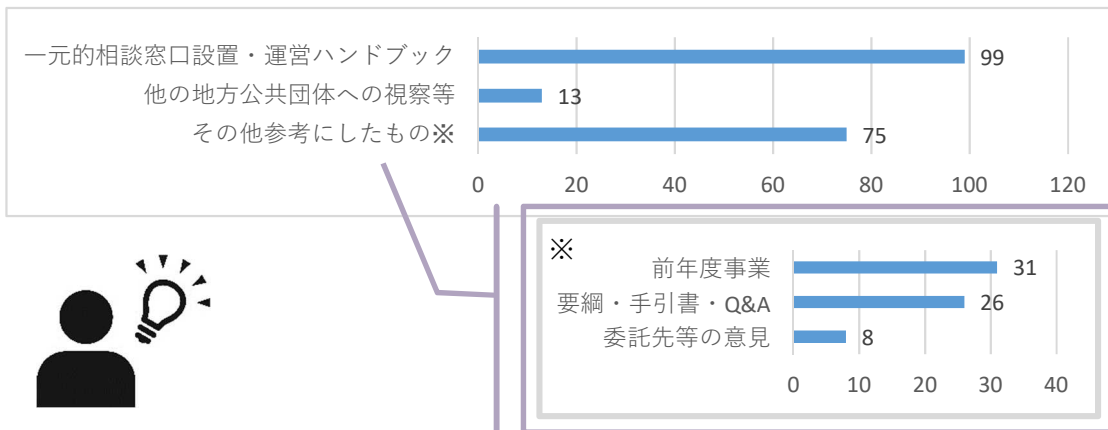
## 令和4年度実施ハンドブックアンケート結果

令和3年11月29日に発行した初版「一元的相談窓口設置・運営ハンドブック」について、活用状況や今後の見直しに関する要望等を収集するため、アンケートを令和4年度に実施しました。結果は以下のとおりです。

■実施対象：令和4年度外国人受入環境整備交付金の交付決定を行った地方公共団体（計228団体）

■回答件数：172団体（回収率75.4%）

■R4事業において参考にしたもの（複数回答可）



■ハンドブックで参考になった箇所（複数回答可）

**TOP3**

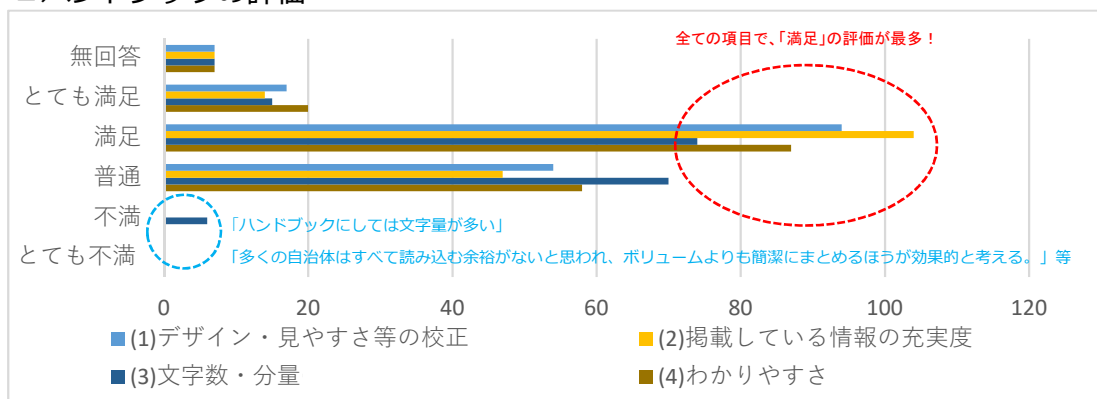
1位「一元的相談窓口の取組事例」（85pt）

2位「交付金事務の1年の流れ」（83pt）

3位「外国人受入環境整備交付金とは」（73pt）



■ハンドブックの評価



アンケートに御協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。